ユーザー情報の多様な変化に対応したアイデンティティライフサイクル管理技術

近藤誠一*
鶴川達也*

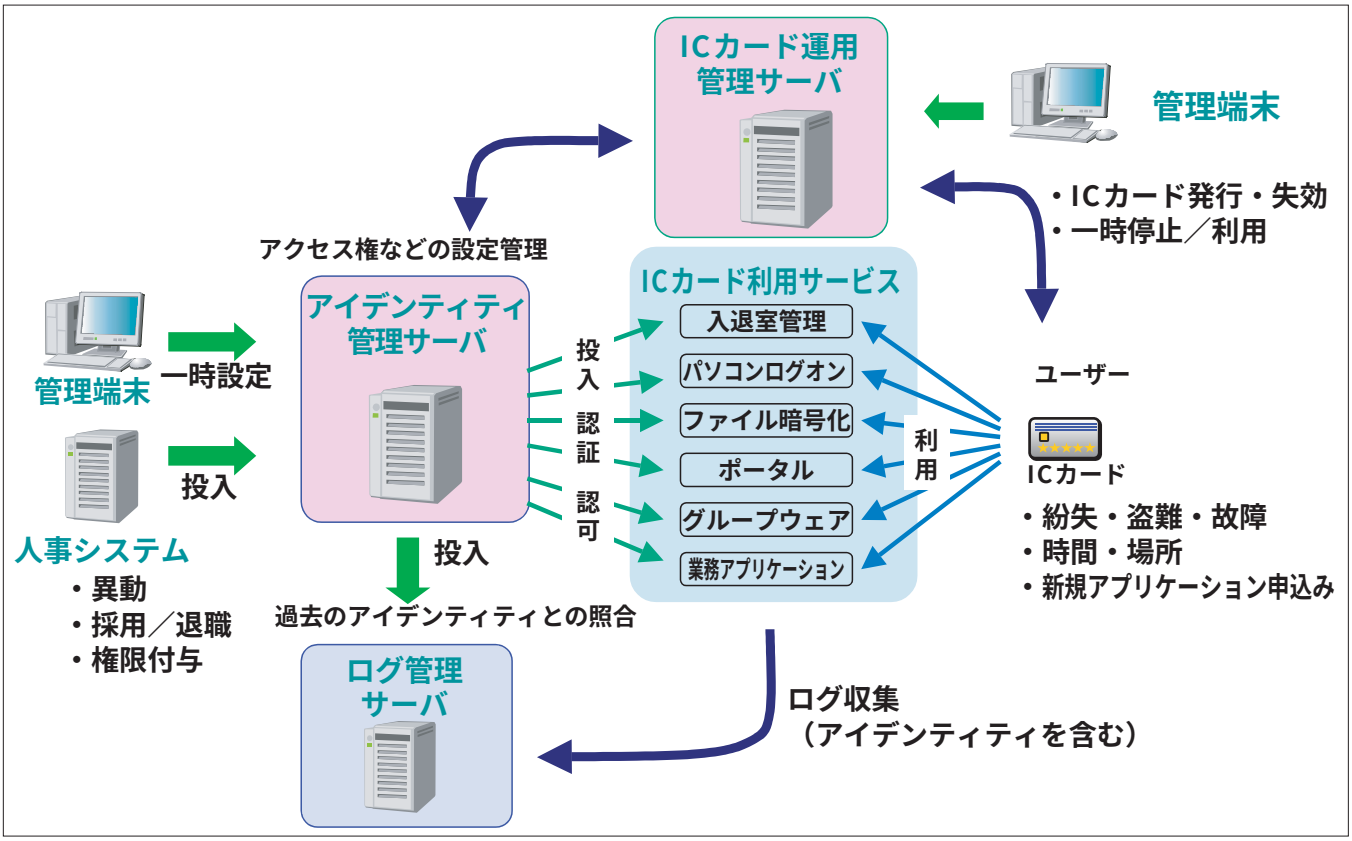
Identity Lifecycle Management Technology

Seiichi Kondo, Tatsuya Tsurukawa

要　旨

近年，企業活動のITへの依存度が増大しており，企業の機密情報や個人情報の外部への漏洩(ろうえい)や不正アクセスなどの事件・事故が経営に直結するリスクとして認識されている。情報漏洩に対するセキュリティ対策として，機器・建造物に対する“物理セキュリティ”，計算機上の情報の漏洩・改ざん，偽造の脅威に対する“情報セキュリティ”など様々な方策が導入されている。従来，これらの対策システムを個別に導入してきたが，様々な脅威に対してワンストップで対応していくためには，体系的な導入が有効であると考えられている。特に，“だれが”(人)，“何を”(物，コンテンツ)，“実施できる／した”(アクセス権，実行ログ)といった人とその属性情報をキーとしたアイデンティティを統合管理し，運用の効率化，確実なセキュリティ対策，監査・分析を実現するシステム構成が採用されつつある。

このような情報セキュリティガバナンスを目指した統合型のシステムでは，導入後の人事異動等のユーザーの変化，及びユーザーを識別するために導入されるICカード等の認証デバイスの変化に対して確実に，かつ，速やかに追随することが課題となる。この技術は，入退室管理システム，パソコンログオンシステム，ICカード発行システム，ログ監査システム等のセキュリティ製品，及び業務システムにアイデンティティを提供するアイデンティティ管理システムにおいて，企業活動における人の変化を迅速に反映し，企業活動の継続，セキュリティレベルの維持・向上を実現する。また，長期間蓄積された実行ログに対してアイデンティティの変更履歴データを提供することにより，過去の行為のトレースを可能とする。



変化に対応したアイデンティティ管理システムの構成例

アイデンティティライフサイクル管理技術により，企業情報システムを構成する様々なセキュリティコンポーネント，業務システムが利用するアイデンティティ統合システムにおいて，アイデンティティの変化に対する運用コスト軽減，セキュリティレベルの維持・向上を実現する。

*情報技術総合研究所